

短期大学開学 70 周年記念号刊行にあたり

学 長 東 田 晋 三

昨年、学園創立 80 周年のお祝いをしましたが、本年は大阪夕陽丘学園短期大学 70 周年の年となります。本学は、学校教育法改正の翌年、昭和 25 年（1950 年）大阪女子学園短期大学としてスタートし、同年、最初に認可を受けた 149 短期大学の一つです。日本で最も伝統ある短期大学でもあります。

開学後 7 年を経過して第一号が発刊されたため、開学 70 周年記念号は「紀要第 63 号」となります。毎号掲載の論文は本学教員が取り組む研究の一端を示すとともに、研究を通して社会に貢献しようとする真摯な姿勢の賜物と自負しております。

短期大学を取り巻く環境は厳しさを増しており、平成 8 年（1996 年）598 校をピークに短期大学の数は減少を続け、本年は 300 校を下回りました。学生数も平成 5 年（1993 年）の最高 53 万人から 10 万人規模にまで縮小してきています。多くの短大が学生の確保に苦戦する現状ではありますが、幸い、本学は、学生の頑張りや教職員の懸命な努力により、昨年に続き本年も定員を充足する予定です。

学園創立 80 周年を迎えた昨年「学校法人大阪夕陽丘学園第 2 期経営 5 ヶ年計画（2019 年度～2023 年度）～学園創立 100 周年に向けて～」において、産官学連携教育（日本型コーオペ教育）及びエンカレッジメント教育のナンバーワン短期大学になると明確なビジョンを掲げました。これは「愛と真実」の建学精神を土台に、創立者里見純吉先生が唱えられた「実社会において役立つ専門性とその活動を支える幅広い知識・教養と豊かな人間性を持った人物を育成する」という教育目的を具体的な姿で示そうとするものです。

本記念号も、こうした大きな方向性のなかで、本学教員が、教育とともに研究に向かう姿勢を示すものであり、本来のオーセンティックな研究成果や事例・研究報告がなされております。その多くが教育向上はもちろん、広く社会に貢献するものと確信しております。

本学紀要が、これからの未来に関わり、発展し、貢献し続けられるよう、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上